原因究明調査の結果、製品に起因する事故ではないと判断する案件

(1) ガス機器･石油機器に関する事故として公表したものの、製品に起因する事故ではないと判断する案件

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
1	A200700533	平成19年10月10日	平成19年10月19日	屋外式ガス湯沸器（ＬＰガス用）	重傷1名	当該製品を使用し、シャワーで子供を洗っていたら、熱い湯が出てきて子供が火傷を負った。	佐賀県		調査の結果、当該製品に故障等の異常は認められなかった。 当該製品は、水量を一定以下にすると、設定した温度より出湯温が上がるが、取扱説明書には、シャワー使用時には手で湯温を確認してから使用する旨、記載されている。
2	A200700624	平成20年11月9日	平成19年11月19日	石油給湯機付ふろがま	火災	当該製品を使用後に屋外で爆発音が聞こえ、確認すると当該製品から炎があがっていた。	秋田県		調査の結果、施工時に当該製品を平板で囲んで設置していたため、換気状態の悪化により不完全燃焼による着火不良が発生し、製品下部に漏れた未燃灯油に引火したもので、施工上の問題と判断した。
3	A200700756	平成19年7月12日	平成19年12月26日	半密閉式ガスふろがま（ＬＰガス用）	火災	当該製品を使用中にふろがま付近から出火し、浴室周辺を焼損した。	広島県		調査の結果、使用者が浴槽の水はりをしないで風呂を沸かしたため、空焚きとなったものであるが、使用者が意図せず当該製品の空焚き安全装置のリード線を外してしまっていたため、発火したものと判断した。
4	A200700802	平成19年7月12日	平成20年1月4日	ガスこんろ（ＬＰガス用）	火災 軽傷1名	当該製品付近から出火した。その際、1名が軽い火傷を負った。	秋田県		調査の結果、当該製品には出火の痕跡は認められず、外部から焼損したものと判断した。
5	A200700813	平成19年12月28日	平成20年1月8日	石油ストーブ（開放式）	火災	当該製品を使用中、火力調節をするためにダイヤルを回したところ、本体下部から出火した。	兵庫県		調査の結果、当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。 なお、取扱説明書には、ガソリン誤給油の注意表示が記載されている。
6	A200700837	平成20年1月4日	平成20年1月17日	石油ストーブ（開放式）	火災 死亡1名	火災が発生し、当該製品が倒れた状態で発見された。	広島県		調査の結果、当該製品に不具合は認められず、使用者がマッチで点火する際に燃焼筒がずれ、異常燃焼となり、当該製品を外に出そうとして転倒させ、可燃物に燃え移った事故と判断した。
7	A200700841	平成19年12月19日	平成20年1月17日	石油ストーブ（開放式）	火災 死亡1名 軽傷1名	火災が発生し1名が死亡し、1名が軽傷を負った。	北海道		調査の結果、当該製品に給油し、戻そうとした際に、給油タンクのネジ式キャップが完全に締まっていなかったために、製品内に灯油がこぼれた。さらに燃焼筒が適切に確実にセットされていない状態で点火したことから異常燃焼して火災に至ったものと判断した。
8	A200700866	平成20年1月10日	平成20年1月23日	ガス栓（都市ガス用）	火災	ビルトインコンロを点火したところ、キャビネット内に充満していたガスに引火し、キャビネット内を焼損した。	千葉県		調査の結果、施工時に誤って、ガス栓の空気抜き穴の締結ビスを確実に閉めなかったことから、空気抜き穴より少量のガスが漏洩し、こんろ着火時に引火したもので、施工上の問題と判断した。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
9	A200700908	平成19年12月31日	平成20年2月1日	石油ストーブ（開放式）	火災	給油する際に、こぼれた灯油に引火して火災となり、1名が死亡し、1名が軽傷を負った。	新潟県		調査の結果、当該製品の消火を確認せず給油し、戻そうとした際に、周囲にあったストーブガードに給油タンクのつまみを引っかけたために、給油タンクのふたが開いて灯油がこぼれ、火災に至ったものと判断した。 なお、取扱説明書には、給油時消火の警告表示が記載されている。
10	A200700949	平成20年1月31日	平成20年2月8日	石油ストーブ（開放式）	火災 軽傷2名	家屋が全焼する火災が発生し2名が軽傷を負った。火災現場に当該製品があった。	福岡県		調査の結果、当該製品の消火を確認せず給油し、戻そうとした際に、給油タンクのネジ式キャップが完全に締まっていなかったため、灯油がこぼれてかかり、火災に至ったものと判断した。
11	A200700953	平成20年1月22日	平成20年2月8日	石油温風暖房機（開放式）	火災 軽傷1名	当該製品周辺と台所を焼損する火災が発生し、1名が軽い火傷を負った。	富山県		調査の結果、被害者が当該製品の点火方法を理解していなかったために、マッチ等で点火しようとして、製品内部の灯油に引火し火災に至ったものと判断した。
12	A200701005	平成20年1月23日	平成20年2月19日	石油温風暖房機（開放式）	火災	当該製品付近から出火する火災が発生した。	神奈川県		調査の結果、当該製品の消火を確認せず給油し、戻そうとした際に、給油タンクのネジ式キャップが完全に締まっていなかったため、灯油がこぼれてかかり、火災に至ったものと判断した。 なお、取扱説明書には、給油時消火の注意表示が記載されている。
13	A200701034	平成20年2月3日	平成20年2月22日	ガス給湯暖房機（都市ガス用）	火災	当該製品に接続された排気筒周辺の天井の一部を焼損する火災が発生した。	愛知県		調査の結果、当該製品に接続された天井裏の排気筒が施工当初から途中で外れており、漏れ出た排気の熱により焼損に至ったものであり、施工上の問題と判断した。
14	A200701056	平成20年2月20日	平成20年2月29日	密閉式ガスふろがま（ＬＰガス用）	火災	追い焚き中に当該製品から出火した。	東京都		調査の結果、当該製品は浴室排水溝の目詰まりによる排水不良により冠水が繰り返され、製品下部が腐食し穴が空いており、事故発生時も、製品下部を冠水させたまま燃焼させたことから、穴から水が製品内に入ったため、異常燃焼に至ったものと判断した。
15	A200701064	平成20年1月31日	平成20年2月29日	屋外式ガス給湯付ふろがま（ＬＰガス用）	重傷1名	入浴中、追い焚きをしたところ熱いお湯が出てきて足を火傷した。	兵庫県		調査の結果、当該製品に故障等の異常は認められなかった。 現地での試験でも事故となる状況は再現されなかった。
16	A200701074	平成20年2月29日	平成20年3月5日	半密閉式ガスふろがま（ＬＰガス用）	CO中毒 軽症1名	入浴中、子供にめまいや嘔吐症状が出て病院へ搬送された。	山形県		調査の結果、外壁工事のためにふろがまの煙突を工事業者が取り外したことに気づかず、使用者がふろがまを使用したため、排ガスが浴室に流れ込んだもので、施工上の問題と判断した。
17	A200701077	平成20年2月24日	平成20年3月5日	石油給湯機付ふろがま	火災	給湯を使用後、窓の外が明るくなっていたため確認すると、当該製品内部が焼損していた。屋外設置の製品が物置内に設置されていた。	神奈川県		調査の結果、当該製品を波板で囲む設置状態だったため、換気状態の悪化により不完全燃焼による着火不良が発生し、製品下部に燃料が溜まり、引火した事故と判断した。 なお、取扱説明書には、機器の周囲を波板で囲わない旨の注意表示が記載されている。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
18	A200701089	平成20年2月24日	平成20年3月6日	石油温風暖房機（密閉式）	火災	当該製品を運転中に背面の排気管延長部に巻き付けられている断熱クロスから発煙、発火した。	北海道		調査の結果、壁のすぐそばに給排気口が設置されていたため、換気状態の悪化により、不完全燃焼が起こり、製品内熱交換器に煤が付着した。そのため熱交換効率が低下し、高熱の排気ガスが排気筒内に流れ出たため、排気筒に巻いてあった耐熱クロスが発煙、発火したものであり、設置上の問題と判断した。
19	A200701124	平成20年2月27日	平成20年3月14日	ガスこんろ（ＬＰガス用）	火災	火災が発生し、当該製品のグリル点火ボタンが点火の状態で溶融し固着していた。	和歌山県		調査の結果、使用者が当該製品で調理した後、こんろの火を消す際に誤ってグリルを点火し放置したため、グリル内の油よごれに引火し発火したものと判断した。
20	A200701152	平成20年3月12日	平成20年3月21日	屋外式ガス湯沸器（都市ガス用）	火災	当該製品の排気口より炎が吹き出し、当該製品上部にあった窓の網戸の一部が焼損した。	広島県		調査の結果、当該製品が、寮の共同浴場の給湯設備として2台並べて配管で並列接続されていたため、水量バランスの偏りと製品酷使の影響から煤詰まりが加速し、不完全燃焼から排気口が焼損したもので、施工上の問題と判断した。
21	A200701154	平成20年3月14日	平成20年3月21日	ガスこんろ（都市ガス用）	火災 死亡1名	火災が発生し、1名が死亡した。	愛知県		調査の結果、使用者が当該製品を使用したまま、その場を離れたことから、当該製品の近傍に置かれた可燃物にこんろの炎が引火したものと判断した。
22	A200701160	平成20年3月1日	平成20年3月25日	ガス栓（ＬＰガス用）	火災	調理をしようとした際、漏れたガスに引火した火災が発生した。	岩手県		調査の結果、使用者が、ヒューズガス栓ではない2口のガス栓のうち製品に未接続で蓋がされていないガス栓を誤って開放し、ガス栓に接続されているガスこんろの点火作業を行ったため、漏洩したガスに引火したものと判断した。
23	A200701162	平成20年1月5日	平成20年3月25日	屋外式ガス湯沸器（都市ガス用）	重傷1名	シャワーを使用中、熱いお湯が出てきて胸に火傷を負った。	東京都		調査の結果、当該製品に故障等の異常は見られず、急に高温の湯が出ることはなかった。 また、現地での試験でも確認をしたが、異常は見られなかった。
24	A200701190	平成20年2月28日	平成20年3月31日	石油ストーブ（開放式）	火災	当該製品を使用中に、消火せずに給油を行い、燃料タンクを本体に戻そうとしたところ、灯油がこぼれて引火する火災が発生した。	群馬県		調査の結果、当該製品の消火を確認せず給油し、戻そうとした際に、給油タンクのネジ式キャップが完全に締まっていなかったため、灯油がこぼれかかり、火災に至ったものと判断した。 なお、取扱説明書には、給油時消火の警告表示が記載されている。
25	A200701191	平成20年2月28日	平成20年3月31日	石油ストーブ（開放式）	火災	当該製品を使用中に、製品下部から出火した。その際、左足に軽い火傷を負った。	群馬県		調査の結果、当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったともと判断した。 なお、取扱説明書には、ガソリン誤給油の注意表示が記載されている。
26	A200800428	平成20年7月17日	平成20年7月25日	密閉式ガスふろがま（ＬＰガス用）	火災 軽傷1名	当該製品を点火したところ、当該製品の外に炎が出て1名が火傷を負った。	栃木県		調査の結果、使用者が当該製品のフロントカバーのネジを外した状態で立てかけて使用していたため、風等の影響から炎が隙間からあふれたものと判断した。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
27	A200800624	平成20年9月15日	平成20年9月18日	ガスこんろ（都市ガス用）	火災 死亡1名	当該製品が設置された部屋で爆発・火災が発生し、1名が死亡した。	埼玉県		調査の結果、故意にガスが漏洩されたことによる事故であり、当該製品には異常や不具合は認められなかった。
28	A200800737	平成20年9月25日	平成20年10月24日	ガスこんろ（ＬＰガス用）	火災	火災が発生し、当該製品が焼損した。	広島県		調査の結果、当該製品の調理油過熱防止装置のついていない側のこんろで調理中、火を消し忘れたまま放置したため発火したものと判断した。
29	A200800814	平成20年11月4日	平成20年11月14日	ガスこんろ（都市ガス用）	火災	当該製品付近から火災が発生した。	愛知県		調査の結果、当該製品は事故当時使用されておらず、外部から焼損したものと判断した。
30	A200800832	平成20年11月9日	平成20年11月19日	ガスこんろ（都市ガス用）	火災	当該製品のグリル部分から出火する火災が発生した。	神奈川県		調査の結果、当該製品に異常は認められず、使用者がグリルを使用した際に火を消し忘れたまま放置したため、グリル内部に残っていた油分に火が付き、火災に至ったものと判断した。
31	A200800851	平成20年11月12日	平成20年11月21日	ガスこんろ（ＬＰガス用）	火災	当該製品のグリル後方の排気部より炎が上がり、台所周辺に燃え広がる火災が発生した。	宮崎県		調査の結果、当該製品に異常は認められず、使用者がグリルを使用した際に火を消し忘れたまま放置したため、グリル内部に残っていた油分に火が付き、火災に至ったものと判断した。

原因究明調査の結果、製品に起因する事故ではないと判断する案件

(2) ガス機器･石油機器以外の製品に関する事故として公表したものの、製品に起因する事故ではないと判断する案件

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
1	A200700556	平成19年10月18日	平成19年10月26日	レンジフード	火災	当該製品のモーターコイルが焼損し、煙が出た。	東京都		調査の結果、灯油を使って当該製品の手入れをしていたことから、その影響により当該製品のモーターコイル部の絶縁性能が劣化し、当該モーターコイル部でレイヤーショートが生じ、発煙･焼損したものと判断した。 なお、取扱説明書に、手入れは台所用合成洗剤を使用するよう、記載されている。
2	A200700951	平成20年1月8日	平成20年2月8日	加湿器	火災	当該製品のマグネットプラグ付近から発火したと思われる火災が発生し、当該製品、机等を焼損した。	兵庫県		調査した結果、当該製品の手入れ不足により、加熱皿やパッキンに多量の水垢が付着し、パッキンに隙間が生じて水漏れし、マグネットプラグ部に水が浸入して、スパークが生じたものと判断した。 使用者は、水漏れが生じていたことを知りつつ使用を続けていた。 なお、取扱説明書に加熱皿に水垢等が付着したまま使用しないよう注意事項として記載されている。
3	A200700952	平成20年1月23日	平成20年2月8日	電気カーペット	火災	家人が留守中に、火災が発生し、当該製品のコントローラー、電源コード及び周辺を焼損した。	高知県		調査の結果、当該製品のコントローラー内部及びヒーター部に発火の痕跡はなく、電源コードの溶融痕は二次痕であったため、外部から焼損したものと判断した。
4	A200701000	平成20年2月9日	平成20年2月18日	介護ベッド用手すり	死亡1名	寝間着の襟首の部分が当該製品のグリップ部に引っ掛かった状態で発見され、病院に搬送されたが死亡した。	島根県		調査の結果、自立歩行のできない使用者がベッドから起き上がろうとして、手すり側に倒れ込んでしまい、寝間着の襟の部分が手すりに引っかかったものと考えられ、製品に起因する事故でないと判断した。
5	A200701067	平成19年10月13日	平成20年3月3日	電気餅つき機	火災	当該製品を使用中、製品の内部配線部に餅が入り込み発火した。	大阪府		調査の結果、送風ダクト内に大量の餅が堆積しており、そこからあふれた餅がボイラーに接触･過熱して燃え広がったものであった。 通常の使用方法では入り得ないことから、何らかの人為的行為が行われたものと判断した。
6	A200800834	平成20年11月11日	平成20年11月19日	エアコン（室外機）	火災	火災が発生し、当該製品、内外接続配管及び外壁が焼損した。	京都府		調査の結果、当該製品及び内外接続配線には発火の痕跡が認められず、外部から焼損したものと判断した。

原因究明調査の結果、製品に起因する事故ではないと判断する案件

(3) 製品起因であるか否かが特定できていない事故として公表したものの、製品に起因する事故ではないと判断する案件

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
1	A200700431	平成19年9月6日	平成19年9月14日	電動車いす（ハンドル形）	死亡1名	当該製品に乗車中、踏切内で電車にひかれ死亡した。	大阪府		調査の結果、当該製品に電車との衝突による変形・損傷を除き異常はみられなかった。 踏切内で電車が近づいてきたことに慌て誤ってアクセルレバーを強く握り込んでしまったため、緊急停止動作をとり続けてしまったものと判断した。 なお、当該使用者が運転を開始したのは事故日の数日前からで、操作に慣れていなかったものと考えられる。
2	A200700472	平成19年8月15日	平成19年9月28日	サンダル	重傷1名	子供がエスカレーターの左手すり寄りに乗り、後ろを振り返った際に、当該製品がエスカレーターに巻き込まれ足の指に重傷を負った。	福岡県		調査の結果、使用者がエスカレーターのステップの黄色い線に踏み込んでいたため、当該製品が隙間に挟まれたものと判断した。 なお、当該製品には、同様の事故が多発した樹脂製サンダルのような特別に挟まれやすい特徴は認められなかった。
3	A200700675	平成19年11月18日	平成19年12月4日	電気洗濯機	重傷1名	脱水運転終了後、当該製品の蓋を開け、洗濯槽の回転が弱くなったので手を入れたところ、小指が洗濯物に巻き込まれ、切断する重傷を負った。	大阪府		調査の結果、洗濯槽のブレーキが摩耗し故障した状態で使用し続けたことに加え、洗濯槽の回転が完全に停止していない状態と知りつつ洗濯槽に手を入れたことにより生じたものと判断した。 なお、取扱説明書に、洗濯槽が完全に止まるまでは、洗濯物に手を触れない旨の警告表示がなされている。
4	A200700750	平成19年12月15日	平成19年12月25日	DVDシステム	火災	隣室から複数回の破裂音がし、確認したところ当該製品から発煙していた。	埼玉県		調査の結果、テレビ台の下に設置されていた当該製品に、テレビ台の上に倒れた状態で放置されていた芳香剤（ゼリー状のもの）が垂れ、製品内に浸入したため、ショートし発煙したものと判断した。
5	A200700767	平成19年12月4日	平成19年12月28日	電気ストーブ	火災	家人が帰宅した際に、当該製品及び椅子、壁等が焼損していた。	神奈川県		調査の結果、製品内部、電源コードに発火の痕跡は認められず、可燃物接触により発火したものと判断した。
6	A200700785	平成19年12月27日	平成19年12月28日	エアコン（室外機）	火災	ベランダの当該製品付近から出火する火災が発生した。	大阪府		調査の結果、当該製品に発火の痕跡はみられず、また、暖房運転時に電源供給されない構造であることから、当該製品からの発火ではないと判断した。
7	A200700793	平成19年12月3日	平成20年1月4日	コードコネクタボディ	火災	当該製品を使用して作った延長コードに加湿器を接続して使用していたところ、火災が発生した。	北海道	A200700753と同一事故 A200700794と同一事故	調査の結果、当該製品には発火の痕跡は認められず、外部から焼損したものと判断した。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
8	A200700794	平成19年12月3日	平成20年1月4日	差込プラグ	火災	当該製品を使用して作った延長コードに加湿器を接続して使用していたところ、火災が発生した。	北海道	A200700753と同一事故 A200700793と同一事故	調査の結果、当該製品は焼損していないことが確認された。
9	A200700805	平成19年12月27日	平成20年1月7日	エアコン（室外機）	火災	焦げ臭いにおいに気づき確認すると、当該製品付近から出火していた。	埼玉県		調査の結果、当該製品には発火の痕跡は認められず、外部から焼損したものと判断した。
10	A200700820	平成20年1月3日	平成20年1月11日	電気式浴室換気乾燥暖房機	火災	入浴中に浴室の天井が燃えているのを発見した。	香川県		調査の結果、当該製品の電源配線と屋内配線との接続が工事説明書で指示された棒端子を用いたコネクタによる接続が行われず、不適切であった。 そのため接続部で接触不良が生じ、発熱・発火したもので、施工上の問題と判断した。
11	A200700829	平成20年1月5日	平成20年1月16日	電気こんろ	火災	当該製品を使用して揚げ物を調理後、食事をしていたところ、鍋から出火していた。	岩手県		調査の結果、当該製品に異常は認められず、使用者が少量の油を鍋に入れて使用した後、スイッチを切り忘れたために、油が過熱し、発火したものと判断した。
12	A200700836	平成19年12月25日	平成20年1月17日	延長コード	火災	当該製品にドライヤーを接続して使用していたところ、スパークが発生し、カーペットの一部が焼損した。	香川県		調査の結果、コードプロテクター端部で繰り返し屈曲等の外圧が加わったため、コード内部の芯線が断線し、スパークが生じ、発火したものと判断した。
13	A200700899	平成20年1月25日	平成20年1月31日	扇風機	火災	複数の扇風機が使用されていた部屋の当該製品周辺から出火した火災が発生した。	大阪府	A200800015と同一事故	調査の結果、当該製品には発火の痕跡は認められず、外部から焼損したものと判断した。
14	A200700909	平成20年1月19日	平成20年2月1日	電気こたつ	火災	当該製品が設置してある部屋で火災が発生した。	奈良県		調査の結果、当該製品には発火の痕跡は認められず、外部から焼損したものと判断した。
15	A200700910	平成19年12月23日	平成20年2月1日	電気洗濯機	重傷1名	当該製品で洗濯をして、終了したと思い蓋を開けて手を入れたらまだ回っており、シーツが指に絡み薬指を切断した。	滋賀県		調査の結果、使用者が当該製品のフタのロック機構が破損していることを認識したまま使用を続け、洗濯槽が回転中に手を入れたことから起こったものと判断した。 なお、取扱表示に、洗濯槽が完全に止まるまでは、洗濯物に手を触れない旨の警告表示がなされている。
16	A200700911	平成20年1月23日	平成20年2月1日	電気ストーブ	火災	当該製品付近から出火し、付近の畳等を焼損する火災が発生した。	埼玉県		調査の結果、当該製品には、発火の痕跡は認められなかった。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
17	A200700915	平成20年1月23日	平成20年2月1日	電気カーペット	火災	当該製品付近から出火した火災が発生した。	京都府		調査の結果、当該製品の電源プラグと延長コードとの接続部の隙間に埃等がたまり、トラッキング現象により発火したものと判断した。
18	A200700917	平成20年1月16日	平成20年2月1日	電気毛布	火災	当該製品付近から出火した火災が発生し、当該製品及び敷き布団、ベッドの一部等が焼損した。	富山県		調査の結果、当該製品には発火の痕跡は認められず、焼損状況より、外部から焼損したものと判断した。
19	A200700934	平成20年1月26日	平成20年2月6日	自転車	重傷1名	当該製品に乗車中、車道から歩道に上がる際、ハンドルが効かなくなり、ブレーキが掛かった様な状態になり、前方に投げ出され転倒し、左足を骨折した。	大阪府		調査の結果、当該製品のハンドル機構に組み込まれているハンドルロックを行う錠の動作は正常であり、分解調査でも錠の機構に損傷はみられず、ハンドルの効きを妨げるような不具合は認められなかったことから、製品に問題はなかったと判断した。
20	A200700959	平成20年2月3日	平成20年2月12日	デスクトップパソコン	火災	当該製品付近から出火した火災が発生した。	大分県		調査の結果、当該製品には発火の痕跡は認められず、外部から焼損したものと判断した。
21	A200700962	平成19年12月31日	平成20年2月12日	踏み台	重傷1名	当該製品の天板に乗り、作業をしていたところ、転落して骨折した。	茨城県		調査の結果、当該製品の支柱強度に問題はなく、支柱端部の変形方向から、使用者がバランスを崩して踏み台が転倒し、落下の際に当該製品に身体の一部が接触して支柱端部が破断したものと判断した。
22	A200700980	平成20年2月1日	平成20年2月15日	電気カーペット	火災	当該製品付近から出火した火災が発生した。	神奈川県		調査の結果、当該製品は事故時に使用されておらず、製品には発火の痕跡は認められないことから、外部から焼損したものと判断した。
23	A200701009	平成20年2月12日	平成19年2月21日	除雪機（歩行型）	死亡1名	自宅敷地内の除雪作業中に当該製品と壁との間に挟まれ死亡した。	新潟県		調査の結果、使用者が当該製品を使用中、後進時に運転操作を誤り、当該製品と壁のあいだに挟まれたものと判断した。
24	A200701037	平成20年2月18日	平成20年2月25日	除雪機（歩行型）	死亡1名	倉庫の中で当該製品の下敷きになって倒れているのが発見され、病院に搬送されたが死亡した。	北海道		調査の結果、当該製品に異常は見られなかった。 使用者が当該製品を使用中、後進時に転倒し、当該製品に巻き込まれたものと判断した。
25	A200701039	平成20年2月15日	平成20年2月25日	電気スタンド	火災	当該製品を布団の上で使用していたところ、火災が発生した。	福岡県		調査の結果、使用者が当該製品を正しく組み立てず布団の上で横にして使用していたことから、電球が可燃物に接触して発火したものと判断した。
26	A200701097	平成20年2月25日	平成20年3月7日	インターホン	火災	当該製品周辺が焼損する火災が発生した。	東京都		調査の結果、当該製品の電源配線と屋内配線との接続が不適切であったため、接続部で接触不良が生じ、発熱･発火したもので、施工上の問題と判断した。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
27	A200701111	平成20年2月19日	平成20年3月12日	電気温風機	火災 死亡1名	火災が発生し、家人1名が死亡した。現場に当該製品があり、掛け布団が燃えていた。	香川県		調査の結果、当該製品に掛け布団が覆い被さったため過熱･発火したものと判断した。
28	A200701118	平成20年3月4日	平成20年3月13日	電動車いす（ハンドル形）	重傷1名	当該製品に乗車して、急な下り坂を後進で降りていたところ土手にぶつかり横転し、重傷を負った。	鹿児島県		調査の結果、当該製品に異常はみられず、取扱説明書で禁止されている、急な坂道の走行禁止及び下り坂での後進走行によるものと判断した。
29	A200701135	平成20年3月8日	平成20年3月18日	エアコン（室外機）	火災	1階ベランダに設置されていた当該製品付近から出火する火災が発生した。	滋賀県		調査の結果、当該製品及び内外接続配線には発火の痕跡は認められず、外部から焼損したものと判断した。
30	A200701147	平成20年3月14日	平成20年3月21日	エアコン（室外機）	火災	1階ベランダに設置されていた当該製品付近から出火する火災が発生した。	神奈川県		調査の結果、当該製品及び内外接続配線には発火の痕跡は認められず、外部から焼損したものと判断した。
31	A200701153	平成20年2月25日	平成20年3月21日	電気ストーブ（カーボンヒーター）	火災	火災が発生し、火災現場に当該製品があった。	沖縄県		調査の結果、当該製品には発火の痕跡は認められず、事故当時に使用されていなかったことから、外部から焼損したものと判断した。
32	A200701156	平成20年1月8日	平成20年3月21日	介護ベッド用手すり	死亡1名	施設において、ベッドの頭側のボードと当該製品の隙間に、首が挟まった状態で発見された。被害者が高さが低いフットボード側から昇降を行うのを防ぐためにベッドのヘッドボードとフットボードを逆に取り付けていた。	島根県		調査の結果、高さが低いフットボードが頭側に取り付けられていたことから、ボードと手すりの間に頭を乗せやすい状態になり、首が沈み込んだものと判断した。
33	A200701159	平成19年10月27日	平成20年3月24日	電気シェーバー	火災	火災が発生し、事故現場に当該製品があった。	神奈川県	A200701177と同一事故	調査の結果、当該製品には発火の痕跡はなく、外部から焼損したものと判断した。
34	A200701167	平成20年2月20日	平成20年3月26日	床ずれ防止用エアーマットレス	火災	当該製品のマットをベッドに敷き、エアーを供給するポンプをベッドの足元に設置して使用中に、ベッド付近から火災が発生した。	千葉県		調査の結果、当該製品には発火の痕跡は認められず、外部から焼損したものと判断した。
35	A200701177	平成19年10月27日	平成20年3月27日	延長コード	火災	火災が発生し、事故現場に当該製品があった。	神奈川県	A200701159と同一事故	調査の結果、当該製品には発火の痕跡はなく、外部から焼損したものと判断した。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
36	A200800042	平成20年3月17日	平成20年4月10日	電気洗濯機	重傷1名	当該製品の洗濯槽の回転が完全に停止していない状態を知りつつ手を入れたため、薬指に衣類が絡まり切断する重傷を負った。	東京都		調査の結果、洗濯槽のブレーキが摩耗し故障した状態で使用し続けたことに加え、洗濯槽の回転が完全に停止していない状態と知りつつ洗濯槽に手を入れたことにより生じたものと判断した。 なお、取扱説明書に、洗濯槽が完全に止まるまでは、洗濯物に手を触れない旨の警告表示がなされている。
37	A200800123	平成20年4月19日	平成20年4月30日	電気カーペット	火災 死亡1名	火災が発生し、家人1名が死亡した。火災現場に当該製品があった。	東京都		調査の結果、外的要因により電源コードが局部的に傷つけられたため、断線、スパークが生じ、周囲の可燃物に引火したものと判断した。
38	A200800175	平成20年4月25日	平成20年5月21日	折りたたみテーブル	重傷1名	施設で使用されていた当該製品の折りたたんでいた天板を開こうとした際に、テーブルが転倒し、右足を骨折した。	福岡県		調査の結果、長期間の使用により開き難くなっていた天板を力を入れて開こうとした際に、その勢いで転倒したものと判断した。
39	A200800288	平成20年6月10日	平成20年6月17日	電気脱水機	重傷1名	施設で使用されていた当該製品の回転が停止する前に子供が手を入れたため、左腕を骨折した。	岐阜県		調査の結果、当該製品の蓋ロック機構が故障した状態で使用し続けられていたことにより、蓋を開け、脱水槽の回転が停止する前に洗濯物を取り出そうと手を入れてしまったことにより生じたものと判断した。 なお、製品本体に、脱水槽が完全に止まるまでは、洗濯物に手を触れない旨の警告表示がなされている。
40	A200800333	平成20年2月13日	平成20年6月27日	水槽用ヒーター	火災	観賞用水槽の水抜き後、しばらくして火災が発生した。水槽には3本のヒーターが使用されていた。	神奈川県	A200701104と同一事故	調査の結果、水槽の水抜き作業中に誤ってヒーターを空焚きさせたことによるものと判断した。
41	A200800401	平成20年7月6日	平成20年7月17日	電気洗濯機	重傷1名	当該製品の蓋を開け、洗濯槽が完全に停止していない状態で、手を入れたところ、指が衣類に巻き込まれ、薬指を切断する重傷を負った。	千葉県		調査の結果、洗濯槽のブレーキが摩耗し故障した状態で使用し続けたことに加え、洗濯槽の回転が完全に停止していない状態と知りつつ洗濯槽に手を入れたことにより生じたものと判断した。 なお、取扱説明書に、洗濯槽が完全に止まるまでは、洗濯物に手を触れない旨の警告表示がなされている。
42	A200800414	平成20年7月5日	平成20年7月23日	電動車いす（ハンドル形）	死亡1名	当該製品に乗車して、下り坂を走行中、山の斜面に乗り上げ、転倒し頭を強く打った。	愛知県		調査の結果、当該製品に異常はみられなかった。 走行中、誤って車道から山の斜面に乗り上げたために横転したものと判断した。
43	A200800426	平成20年7月19日	平成20年7月25日	エアコン（室外機）	火災	上下二段に設置されていた当該製品設置場所付近で火災が発生した。	兵庫県	A200800429と同一事故	調査の結果、当該製品及び内外連絡配線に発火の痕跡はみられないことから、外部から焼損したものと判断した。
44	A200800429	平成20年7月19日	平成20年7月25日	エアコン（室外機）	火災	上下二段に設置されていた当該製品設置場所付近で火災が発生した。	兵庫県	A200800426と同一事故	調査の結果、当該製品及び内外連絡配線に発火の痕跡はみられないことから、外部から焼損したものと判断した。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
45	A200800432	平成20年7月17日	平成20年7月28日	自転車	重傷1名	当該製品に乗車して走行中、前輪の泥除けが車輪に巻き込まれたため転倒し、骨折した。	群馬県		調査の結果、当該製品の泥除けに強い衝撃が加わらなければ起こり得ない状態に変形して車輪に巻き込まれている状況から、何らかの外力が加わったものと判断した。
46	A200800520	平成20年6月20日	平成20年8月20日	サンダル	重傷1名	雨天時に当該製品を履いていたところ、コンクリートの上で転倒し、骨折した。	長崎県		調査の結果、雨で滑りやすいコンクリート地面で当該製品を履き、振り向いた際に滑り転倒したものと判断した。当該製品には、他のサンダルと比較して滑りやすい特徴は認められなかった。
47	A200800531	平成20年8月12日	平成20年8月22日	車いす	重傷1名	介護者が当該製品に要介護者を乗せて走行中、乗車していた要介護者が前のめりに当該製品から転落し、重傷を負った。	神奈川県		調査の結果、当該製品に異常は認められず、使用者が段差に対し浅い角度で進入させた際に、前輪キャスタが横向きになって段差を乗り越えられず、急停止したものと判断した。 なお、取扱説明書には、段差を乗り越える際の注意事項が記載されていた。 （当該案件についてはレンタル事業者がレンタル時に添付する取扱説明書に、当該注意事項についての記載がなかったことから、レンタル事業者に対して注意を行った。）
48	A200800544	平成20年7月19日	平成20年8月27日	水槽用ヒーター	火災	当該製品周辺が焼損する火災が発生した。	愛知県	A200800592と同一事故	調査の結果、当該製品には発火の痕跡はなく、外部から焼損したものと判断した。
49	A200800574	平成20年8月27日	平成20年9月5日	電気洗濯機	重傷1名	当該製品の洗濯槽の回転が完全に止まっていない状態と知りつつ手を入れたため、洗濯物に指が巻き込まれ、薬指を切断する重傷を負った。	愛知県		調査の結果、洗濯槽のブレーキが摩耗し故障した状態で使用し続けたことに加え、洗濯槽の回転が完全に停止していない状態と知りつつ洗濯槽に手を入れたことにより生じたものと判断した。 なお、取扱説明書に、洗濯槽が完全に止まるまでは、洗濯物に手を触れない旨の警告表示がなされている。
50	A200800592	平成20年7月19日	平成20年9月11日	水槽用ポンプ	火災	当該製品周辺が焼損する火災が発生した。	愛知県	A200800544と同一事故	調査の結果、当該製品には発火の痕跡はなく、外部から焼損したものと判断した。
51	A200800672	平成20年9月24日	平成20年10月3日	電気洗濯機	火災	当該製品が焼損する火災は発生した。	岐阜県		調査の結果、当該製品には発火の痕跡は認められず、焼損状況より、外部から焼損したものと判断した。
52	A200800682	平成20年8月1日	平成20年10月7日	折りたたみテーブル	重傷1名	当該製品を移動していたところ、テーブルが転倒し、天板が足に当たり、骨折した。	東京都		調査の結果、使用者が取扱注意表示に従わずにテーブル前方から当該製品を引きながら移動していたため、床面にあった障害物にキャスターが乗り上げ転倒したものと判断した。
53	A200800686	平成20年10月2日	平成20年10月8日	水槽用照明器具	火災	当該製品の差し込みプラグと延長用テーブルタップの接続部付近から発火した。	愛知県	A200800706と同一事故	調査の結果、延長コードが水槽と同じテーブルに置かれていたため、水が掛かり、トラッキング現象が発生して発火したものと判断した。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因する事故でないと判断した理由
54	A200800693	平成20年9月7日	平成20年10月10日	サンダル	重傷1名	当該製品を履いて階段を上ろうとした際に、左足親指を骨折した。	愛知県		調査の結果、当該製品は、バンドが押しつぶされている状態で、使用者が当該製品を慌てて履いたため、親指がはみ出した状態となり、階段に足の親指をぶつけたものと判断した。 なお、当該製品は、他のサンダルと比較して特別に履きにくい特徴は認められなかった。
55	A200800706	平成20年10月2日	平成20年10月10日	延長コード	火災	当該製品の差し込みプラグと延長用テーブルタップの接続部付近から発火した。	愛知県	A200800686と同一事故	調査の結果、当該製品が水槽と同じテーブルに置かれていたため、水が掛かり、トラッキング現象が発生して発火したものと判断した。
56	A200800776	平成20年10月25日	平成20年11月4日	ファクシミリ	火災	当該製品が焼損する火災が発生した。	静岡県		調査の結果、当該製品の電源コードが、ガラス窓のレールをまたいで配線されており、窓の開閉でレールに挟まれる等、外的要因によりコードが局部的に傷つけられたため、断線、スパークが生じ、発火したものと判断した。 なお、取扱説明書には、電源コードの挟み込みに関する注意表示がなされている。
57	A200800806	平成20年10月27日	平成20年11月13日	クリップライト	火災	点灯したままの当該製品がベッドの上に落下し、シーツが焦げた。	岐阜県		調査の結果、当該製品のクリップ部のゴムの片側を紛失し、摩擦力が減少している状況である上、取扱説明書で禁止している、垂直な板への取り付けがなされていたため、当該製品が落下し、ライトの熱でシーツが焦げたものと判断した。
58	A200800830	平成20年9月22日	平成20年11月19日	水槽用ポンプ	火災	当該製品付近から出火した火災が発生した。	茨城県		調査の結果、当該製品には発火の痕跡はなく、外部から焼損したものと判断した。
59	A200800836	平成20年10月27日	平成20年11月19日	延長コード	火災	鑑賞用水槽のポンプ、ライト、ヒーター等と接続されていた当該製品付近から発火した。	東京都		調査の結果、水槽の海水が当該製品内部に浸入し、トラッキング現象が発生し、発火したものと判断した。